



世界に希望を生み出そう

帯広西ロータリークラブ

第2468回例会

会報

2024.3.14



■RI第2500地区スローガン■

今こそ変わる勇気を！
さあ、一步前へ

■クラブ・テーマ■

皆に希望と笑顔と愛を！
ロータリーを楽しみながら活動しよう！

会長報告

天野 清一 会長

こんにちは。会長報告させていただきます。
本日は3月14日(土)で何の日だろうと思いついたら、1つ目に『国際結婚の日』でした。1873年3月14日、日本政府が国際結婚を認めると布告を出した日です。2つ目に『数学の日』で子供から大人まで楽しめる学習として数学を発展させるために制定された日です。円周率の3.14であるからようです。3つ目に『ホームインスペクションの日』。住宅売買に活用するために、住宅の劣化状況や不具合の調査、修正箇所のアドバイスなどを行うホームインスペクション(住宅診断)を広めるために制定された日です。住宅の調査する平均の所要時間が3時間14分であるからだそうです。



4つ目にホワイトデー(マシュマロデー・キャンディーの日)。この歳になって私はホワイトデーは大した関係ない状況ですが、一般的にパレンタインデーにチョコレートなどももらった男性がそのお返しとしてキャンディ、マシュマロ、ホワイトチョコレートなどのプレゼントを女性へ贈る日となっています。このホワイトデーの習慣は日本で生まれたそうです。

以上本日の会長報告とさせていただきます。

会務報告

立崎 貴之 幹事

- ①帯広北RC、3月15日(金)の例会は、休会と致します。
- ・帯広南RC、3月18日(月)の例会は、休会と致します。
- ・帯広RC、3月20日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。



②RI第2500地区第6分区都市連合会(IM)開催のご案内

日時 3月30日(土)
12:00~12:30 帯広RC例会セレモニー
12:30~13:00 登録受付
13:00~13:40 開会式
13:40~15:10 講演:クラブ発表Part1
15:20~16:50 講演:クラブ発表Part2
17:00~17:20 閉会式
17:40~19:10 懇親会
場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広南RC、3月25日(月)の繰下げ例会と致します。
帯広東RC、3月26日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広RC、3月27日(水)の繰下げ例会と致します。
帯広西RC、3月28日(木)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、3月29日(金)の繰下げ例会と致します。

ニコニコ献金

田中 耕吾 親睦活動委員

長期計画特別委員会 奥 敏則 委員長
本日、担当例会です。宜しくお願いします。
社会奉仕委員会 石原 潤 副委員長
一人息子の大学進学が決まりました。長い仕送り生活が始まります。
親睦活動委員会 田中 耕吾 委員

本日、ニコニコ発表です。今日、3月14日は、家のお祖母さんの95歳の誕生日です。みなさん、健康に留意して長生きしましょう。

ニコニコ	3月14日	6,000円
献金	累計	480,000円 (3月14日現在)

プログラム

「RLIの基本」

森 房明 長期計画特別副委員長

本日の例会はRLIについて奥委員長からご説明いただきます。RLIとはロータリー・リーダーシップ・インスティテュートの頭文字であります。訳すと「ロータリー・リーダーシップ・協会」となり、意味するところは「ロータリーの使命を明確に提示できる研究機関」ということご理解いただけるかと思えます。

2500地区のRLIは、奥会長エレクト年度から、会長や幹事を対象にリーダーとしてロータリーの必要な知識や資質を身につけるべく始まりました。一方的に受け身で学ぶ手法とは異なり、ロータリアン同士で積極的に語り合うことで知識を深め、自らのスキルアップを図ることができます。また、他のクラブの方々から直接お話を聞き、それを参考に自らのクラブに取り入れることも可能です。

世界において、また日本国内でも各地区においてRLI導

入が進み、プログラム内容も充実してきております。RLIは今後様々な形でロータリー活動に活用されることにより、良好な成果につながる大いに期待されています。またZOOMの手法を取り入れたことにより、一堂に会さなくても行えるという利点もあり、広い地域に点在する2500地区のロータリークラブはもとより、移動時間をかけて改めて集まるような手間が省けることから、他地域でも大いに活用があると言われております。

RLI研修会は今のところ、会長予定者・幹事予定者やクラブの役員など、クラブのリーダーを養成するためのプログラムですが、入会歴の浅い会員にとっても良い学びの機会となるプログラムでもあります。是非とも当クラブでの例会や、研修、或いは新入会委員のオリエンテーションの場で、活用頂ければと考えております。

それでは、「RLIの基本について」奥委員長、よろしくお願い致します。



会長 天野 清一 副会長 上野 裕司 会場監督理事 伊藤 公康 発行：広報委員会
幹事 立崎 貴之 副会長 柳沢 一元 プログラム委員理事 近藤 真治 委員長 板倉 利幸 (副) 朴 昌人



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

奥 敏則 長期計画特別委員長



あらためまして、宜しく申し上げます。まず、RLIについてですが、今、森副委員長からお話があったように、RLIはリーダーシップの研修のためのカリキュラムです。クラブの役員、幹事、会長になる人が受けるべく研修という風になっております。何故、こういうものが生まれてきたかと言うと、それはやはり、ロータリーの歴史にあります。ベテラン会員でもRLIは「いったい何なのだ」と疑問を持たれている方もいらっしゃるのですが、この例会を開催させて頂きました。先ほど、森副委員長からもありましたように、RLIはロータリー・リーダーシップ研究会、ロータリー・リーダーシップ・インスティテュートとなっております。ここに書かれているようにロータリアンの知識を啓発し、モチベーションを高めリーダーシップを養成する為に作られた合同指導力育成プログラムです。RLIでは情報や知識を与えるだけの受け身のトレーニングという考え方をやめて、主体的にスキルや能力を向上させるための情報を吸収するといったラーニングという考え方に変わってきております。その辺の事は地区研修セミナー、PETSに参加していただいた方は分かっていると思いますが、先日この例会でも小谷ガバナエレクトから、地区方針を発表したときにおっしゃっていただきましたので、皆さんもご存じかと思えます。この合同という所ですが、1対1の研修ではなくて、仕切り役のファシリテーター、去年までディスカッションリーダーと呼んでいましたけれども、今は話し合いを円滑に進め、尚且つ本人も一緒に考え、答えをみんなと共に導き出すファシリテーターという言い方になってきております。現在、帯広西ロータリークラブでこの研修を受けている方というのは、会長・幹事予定者あてに研修の案内がきておりますので、おととしの私が会長エレクトの時から始まっていますので、私、森会員、天野会長、立崎幹事、飯田会長エレクト、平田幹事エレクト、小谷ガバナエレクトの7名がこの研修を受けております。そして、ファシリテーターとして登録しているのが、私一人だけとなります。RLIは、指導者養成プログラムを持っていて、内容も豊富です。参加型、双方向型の討議により、参加者の理解を深め、モチベーションを高める。質の高いリーダーシップ研修を通してロータリークラブの活性化を目指すという事です。RLIのテキストが売っているのですが、研修を受ける人は5,000円くらいで買わなければならないものです。そして、小グループ制によるファシリテーション手法を討議しながら対話を通して、ロータリアン一人一人の自己啓発、指導力向上と共にクラブを強化するプログラムとして導入したという事でありました。たとえ話で、何故導入したのかという事ですが、今、ここに世界中に3万7千もの支店がある大会社がありますが、社内規定で、支店長の任期が1年と決められています。毎年、支店長が変わる組織と言うのは、常に好成績をあげることは出来るのでしょうか。新しい支店長がリーダーシップを発揮してパトタッチし続ける事が出来にくいという事で、解決策が2つあります。支店長の任期を2～3年にする。それから、新支店長たちにリーダーシップをつけてもらうか、です。ロータリーの定款の中の第1条に会長の任期は7月1日に就任して1年限りと決められているので、2年も3年も会長をするという事が出来ません。その為に、7月1日から新しい会長にバトンをつなげる事が出来るのかという為にこのRLIが創られて、会長になる為の研修などを受けるようになりまして。かつてのRLI会長ビチャ・イラタクル氏の言葉ですが、「ロータリーのリーダーは変わりますが、ロータリーのリーダーシップは変わることなく、継承されていかなければなりません。」という事でRLIが目指す成果としては、個々、ロータリアンとしての成長、それから、ロータリー間の確立、クラブ、地区のリーダーの育成という事にあります。RLIはパート1からパート3まであります。3まで受けると、ファシリテーターになる事が出来るのですが、先日飯田会長エレクトと、平田幹事エレクトがパート3まで受けたので、ファシリテーターになる事は出来ません。3月3日に行われたPETSでは、一人のファシリテーターが受け持つ受講者の数が14名から18名と多く、質問してもファシリテーターとして、返答したり、意見を述べたりする暇がなかったので、適正人数というのは1グループ6名から8名ぐらいの間ではないかなと思っています。パート1では、リーダーになるため、ロータリアン個々の資質

を高める研修をします。パート2では、クラブのリーダーとして、クラブをいかに活性化するかという事をします。パート3では、最終的にクラブから地区、RIに至るまで、幅広く研修をいたします。ロータリーのリーダーとしてのステップとしては、RLIで学んで考えて、そして、誰かの意見を伝えてもらったり、自分の意見を誰かに伝える、という事で、完結しますが、そこで、伝えられた事は、クラブへ持ち帰ってメンバーへ伝えて実践すると。こういう流れでいくのが、ベストだと言われております。ここで実際にRLIをやっている所のビデオを見てもらいたいと思います。

ビデオ上映

今、実際にRLIをやっている様子を見ていただきましたけれども、だいたい、1セッション6名から7名くらいにファシリテーターが1人つくというような感じで、事前に出されている質問、このテキストの中にあるのですが、この中から色々宿題を出されて、それについて、当日までに回答しておかなければならないのですが、それを色々ファシリテーターが一人一人あてて、どう思っているのかを聞きながらそれに対して、周りの人たちの意見を聴きながらファシリテーターも意見していくというのがRLIでございます。実際、色々難しい問題が一杯あるのですが、なるべく簡単なやつを選んでみましたが、会員を勧誘すると。会員増強の点について皆さんに色々宿題を出した時の内容なのですが、
1.あなたのクラブにとって良いロータリアンとはどのような特性を持った人ですか。この中で色々討議をされるのですが、そういった中で実際にあった事が以下のような事です。

ファシリテーターが質問します。「あなたのクラブでは会員増強に成功していますか。」指名された方は、「ある意味成功していますが、ある意味失敗とも言えます。」「それはどういったことでしょうか。」「入会者は5名いますが、退会者も5名います。」「どうして退会者が5名も出たのでしょうか。」「こういった掛け合いをしていくわけですね。」「無理やり入会してもらったからかもしれません。仕事の元請けさんに頼んで入れてもらったり、JCの先輩から無理やり入れてもらったりした。」「無理に入ってもせっかく入ってもらったのだから、好きになるチャンスもあったのではないのでしょうか。でも、あなたのクラブは会員増強よりも退会防止に力を入れたらどうでしょうか。」「推薦人にまかせればなしで、忙しくて気にしている暇がありませんでした。」「これに対してこうしたら良いという意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。」と他の人に振るわけですね。そうするとある人が、「我がクラブでは新入会員の歓迎会をやったり、新入会員が興味を持ってもらうようなことを事前にリサーチして例会に取り入れれたり、ゴルフ同好会に入ってもらったりしています。」西ロータリーも同じことをしていますが、僕もこの時、入会が同じくいる人たちが集まって、同期の別をつくっているという話をさせて頂きました。また、別な質問の時に、「DEIと会員増強の観点から女性会員の事についてお聞きします。あなたのクラブの女性会員は何名ですか。」そうすると「女性会員はいたことがありません」というクラブがありました。「女性会員をいれないという事でしょうか。それとも女性会員を嫌がっている会員がいるとか、表に出せない取り決めで、なんとなく入れないとか。」「決してそんなことはありません。まわりに入ってくれそうな女性経営者や幹部の方がいないので」と答えましたが、実際にはファシリテーターというのは、どういった人が参加しているのかという事も事前に調べます。そうするとファシリテーターが「そんなことはないと思います。あなたと同じ市の他のクラブでは4名の女性会員がいるではありませんか」と言いました。決して責めているわけではないのですが。「女性会員が1名だけというのは女性にとって抵抗があると思います。なので、1度に二人以上入会してもらおうのいいのではないのでしょうか」と言うアドバイスもありました。皆さんのテーブルに質問表があります。答えて頂ければ、自分がどの程度のロータリアンが分かるようになっています。それでは時間になったようです。ご清聴ありがとうございました。